

決算説明資料 -2025年3月期 第2四半期-

証券コード：3666
株式会社テクノスジャパン

2024年11月14日

LEAD THE CONNECTED SOCIETY TO THE FUTURE

～ つながる社会の未来を切り拓く ～

1. 決算説明サマリ (2025年3月期 第2四半期)
2. 決算概要 (2025年3月期 第2四半期)
3. 業績見通し
4. 参考資料

1. 決算説明サマリ (2025年3月期 第2四半期)

1	決算説明サマリ (2025年3月期 第2四半期)
2	決算概要 (2025年3月期 第2四半期)
3	業績見通し
4	参考資料

2025年3月期 第2四半期（累計）業績・通期見通し サマリ

2025年3月期 第2四半期（累計） 全体サマリ

売上・営業利益ともに前年同期比で**増収増益**
 売上高 : 69.2億円 前年同期比 +5.1億円、+8.1%
 営業利益 : 9.7億円 前年同期比 +1.7億円、+21.4%

		第2四半期 (累計)	業績・通期見通し	第3・第4 四半期	通期見通し
ソリューション ・サービス別 サマリ	ERP		SAP ・ 堅調に成長		
			mcframe ・ 上期は、前年の大幅増の反動により減少、 下期は回復見通し		
	CRM		国内 ・ 上期は堅調に成長も、 下期は受注軟調で、上期を下回る見通し		
			海外 ・ 堅調に成長		
	CBP		全体 ・ 上期の成長はやや伸び欠くも、 下期は受注堅調で、成長見通し		
	その他		全体 ・ 堅調に成長		

※天気アイコンは、前半期または前年度と比較した売上高の伸長度合いを表します。
 第2四半期（累計）は、2024年3月期第3・第4四半期から2025年3月期第1・第2四半期の売上高伸長
 第3・第4四半期は、2025年3月期第1・第2四半期から2025年3月期第3・第4四半期の売上高伸長
 通期見通しは、2024年3月期通期から2025年3月期通期（見通し）の売上高伸長

2. 決算概要（2025年3月期 第2四半期）

1	決算説明サマリ（2025年3月期 第2四半期）
2	決算概要（2025年3月期 第2四半期）
3	業績見通し
4	参考資料

2025年3月期 第2四半期（累計） 経営成績（連結）

2025年3月期第2四半期は売上・利益ともに計画を上回る

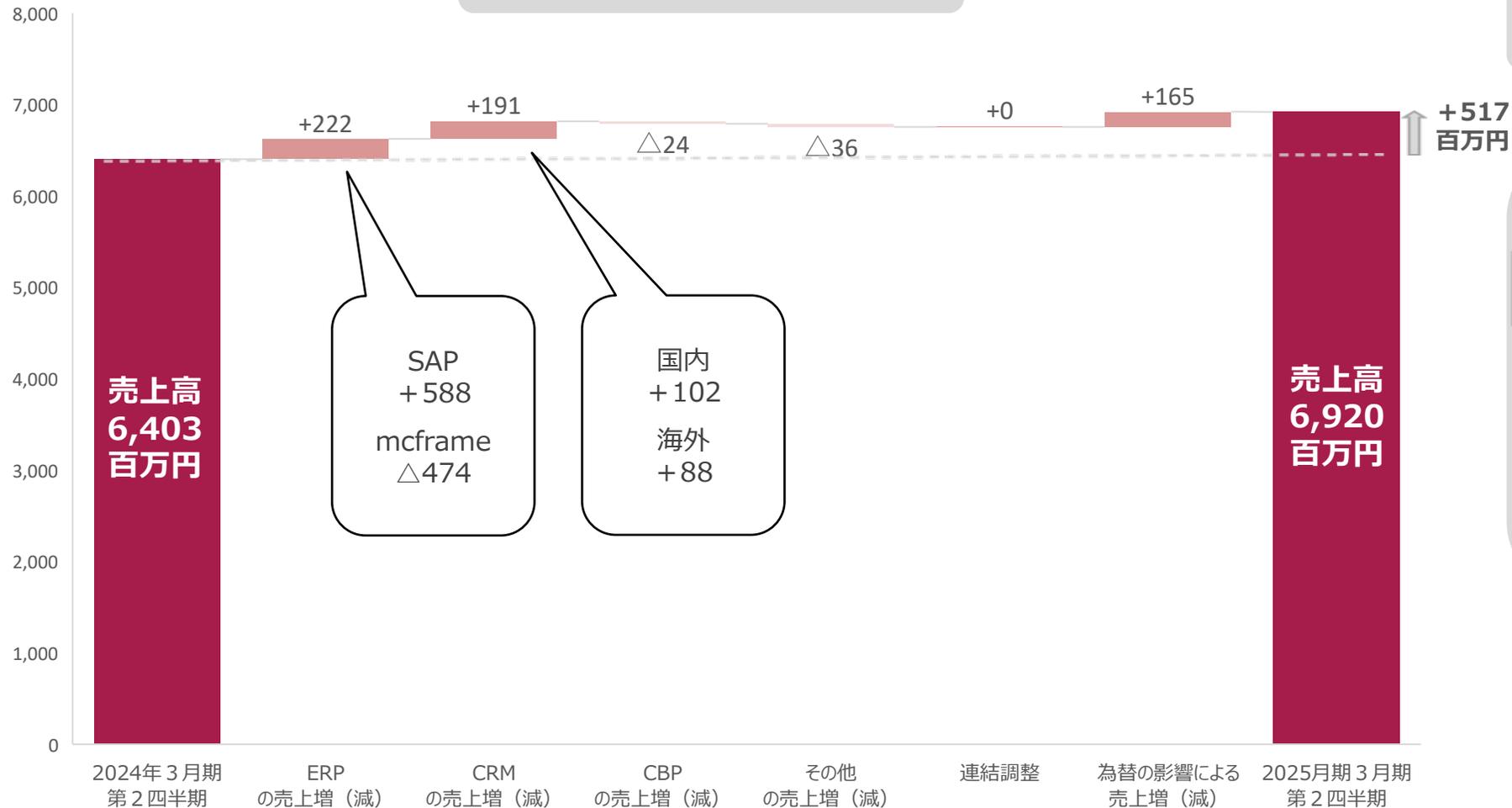
	2024年3月期 第2四半期 (累計)	2025年3月期 第2四半期 (累計)	前年同期比		2025年3月期 第2四半期（累計）（計画）		2025年3月期 通期（計画）	
	実績	実績	増減	増減率	計画	達成率	計画	達成率
売上高	6,403	6,920	517	8.1%	6,713	103.1%	14,300	48.4%
売上総利益	2,018	2,436	417	20.7%	—	—	—	—
（売上総利益率）	31.5%	35.2%	—	—	—	—	—	—
営業利益	806	978	172	21.4%	719	136.0%	1,638	59.7%
（営業利益率）	12.6%	14.1%	—	—	10.7%	—	11.5%	—
経常利益	865	949	83	9.7%	729	130.2%	1,644	57.7%
（経常利益率）	13.5%	13.7%	—	—	10.9%	—	11.5%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	863	580	-283	-32.8%	504	115.0%	1,138	51.0%
1株当たり 当期純利益（円）	45.00	30.24	-14.76	-32.80%	26.29	115.0%	59.30	51.0%

※当期純利益の前年度比マイナスは前年度の投資有価証券売却による一時的な増益による影響

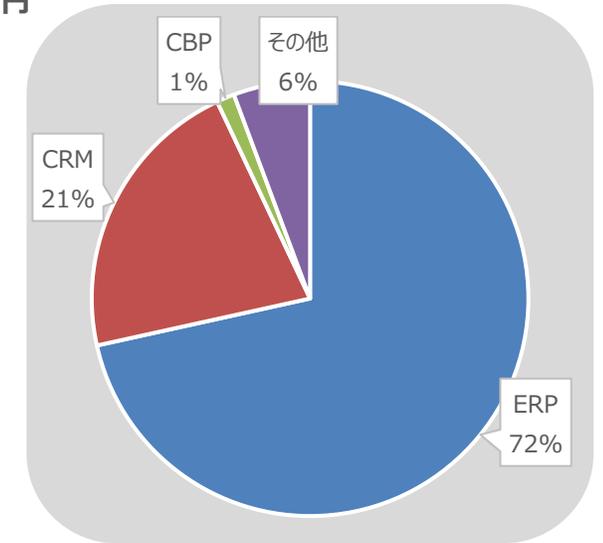
2025年3月期 第2四半期（累計）売上高増減要因（連結）

主力のSAPビジネスが業績を牽引

売上増減要因

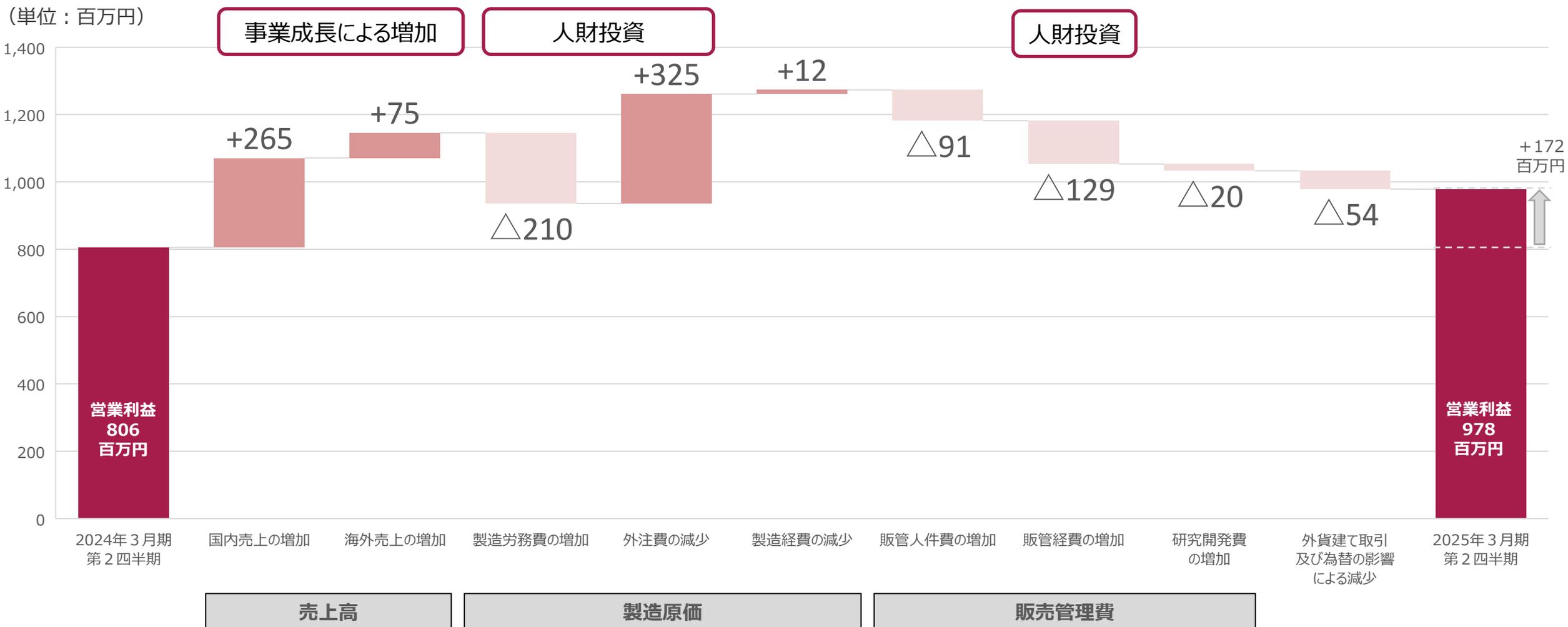


ソリューション・サービス別売上構成



2025年3月期 第2四半期（累計） 営業利益増減要因（連結）

人財投資を継続しながら利益は前年対比増を維持



※為替の感応度は、営業利益で円とドルの関係において1円の変動で1.1百万円を試算しております。

2025年3月期 第2四半期 貸借対照表（連結）

自己資本比率は高水準を維持し、健全な財務基盤を維持

（単位：百万円）

	2024年3月期末		2025年3月期第2四半期末			主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	
流動資産	6,972	70.4%	7,322	70.8%	349	現金及び預金 △ 598 売掛金 + 829 電子記録債権 + 111
固定資産	2,924	29.6%	3,017	29.2%	92	のれん + 260 投資有価証券 △ 135
資産合計	9,897	100.0%	10,340	100.0%	442	-
流動負債	1,766	17.8%	2,071	20.0%	304	買掛金 + 114 前受金 + 209
固定負債	832	8.4%	835	8.1%	2	-
負債合計	2,599	26.3%	2,906	28.1%	307	-
純資産合計	7,298	73.7%	7,434	71.9%	135	資本剰余金 △ 152 その他有価証券評価差額金 △ 93 為替換算調整勘定 + 213
負債・純資産合計	9,897	100.0%	10,340	100.0%	442	-
自己資本比率	72.5%	-	71.2%	-	-	-

2025年3月期 第2四半期（累計） キャッシュ・フロー（連結）

営業CFは増加、投資CFおよび財務CFは減少
 投資CFはTrueson子会社化、財務CFはLirikの完全子会社化が主な減少要因

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	増減額
現金及び現金同等物の期首残高	3,138	4,150	1,012

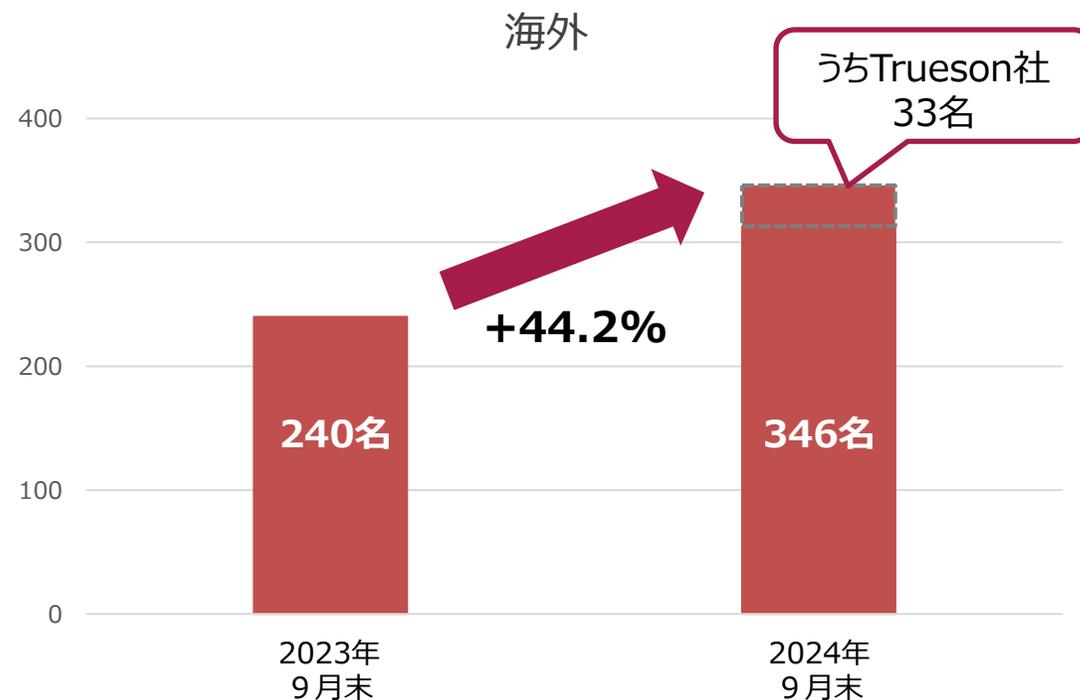
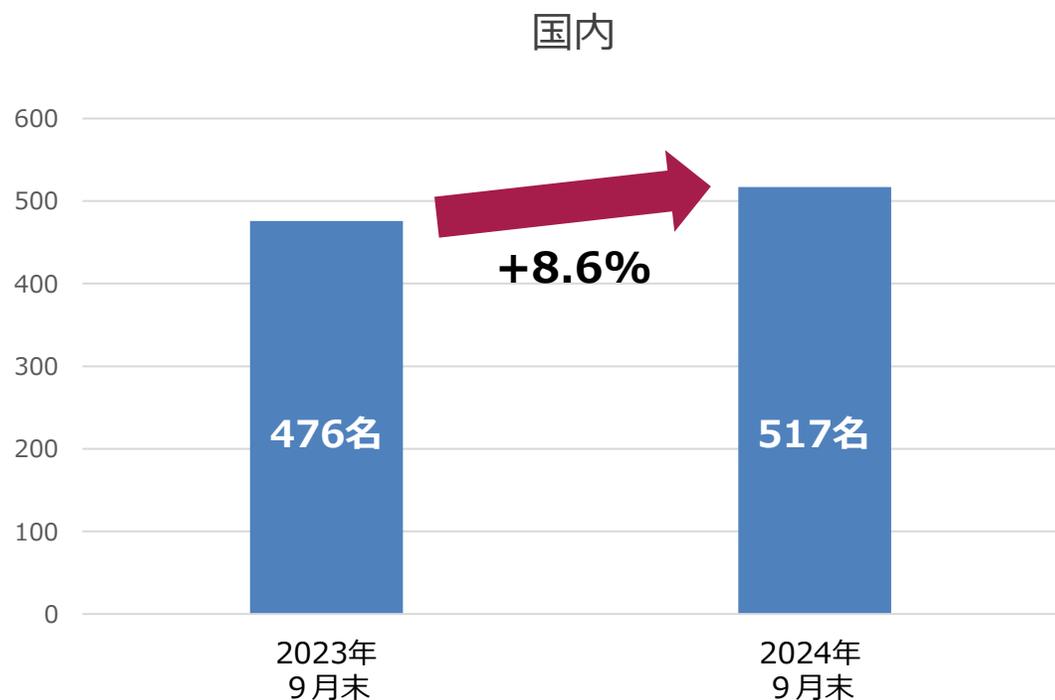
(単位：百万円)

	2024年3月期 第2四半期（累計）	2025年3月期 第2四半期（累計）	増減額	主な増減要因
営業CF	△ 327	130	458	税金等調整前当期純利益 △ 307 売上債権の増減 △ 300 仕入債務の増減 + 220
投資CF	△ 108	△ 271	△ 162	連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 △ 258 (Trueson子会社化)
FCF（フリー・キャッシュフロー）	△ 436	△ 140	296	-
財務CF	△ 296	△ 628	△ 331	長期借入金の返済による支出 △ 45 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 △ 242 (Lirik完全子会社化)
現金及び現金同等物に係る換算差額	85	149	64	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,490	3,531	1,041	-

従業員状況

従業員（連結）が147名（20.5%）増の863名に増加

- （国内）採用活動が概ね計画どおりに採用が進んだ結果、前年同期比で8.6%増加
- （海外）新規案件の対応のために技術体制を強化、M&Aによる子会社化もあり44.2%と大幅増加



トピック : Trueson B.V.の子会社化

ライフサイエンス・ヘルスケア領域におけるCRM事業拡大を起点とした欧州進出

2024年7月より
欧州市場へ進出

Trueson B.V.

(事業内容)
ライフサイエンス・ヘルスケア業界向けの
多様なCRMソリューション提供に加えて、
自社サービスも提供



欧州 (オランダ)

ベトナム



日本

Lirik

北米

インド

相乗効果

1. Trueson社の強みである欧州での**ライフサイエンス・ヘルスケア業界向けCRMソリューションを北米・日本に展開**することで、ソリューション提供地域を拡大
2. テクノグループが強みの**CRMソリューション(Salesforce)を欧州の他業界向けに展開**することでソリューション提供地域を拡大
3. Trueson社の**ベトナム拠点をテクノグループ全体のオフショア拠点として活用**

■ 連結子会社のLirik社の株式追加取得による完全子会社化

- ✓ Lirik社の発行済み株式の5%を同連結子会社のTGCA社が追加取得し、Lirik社を完全子会社化

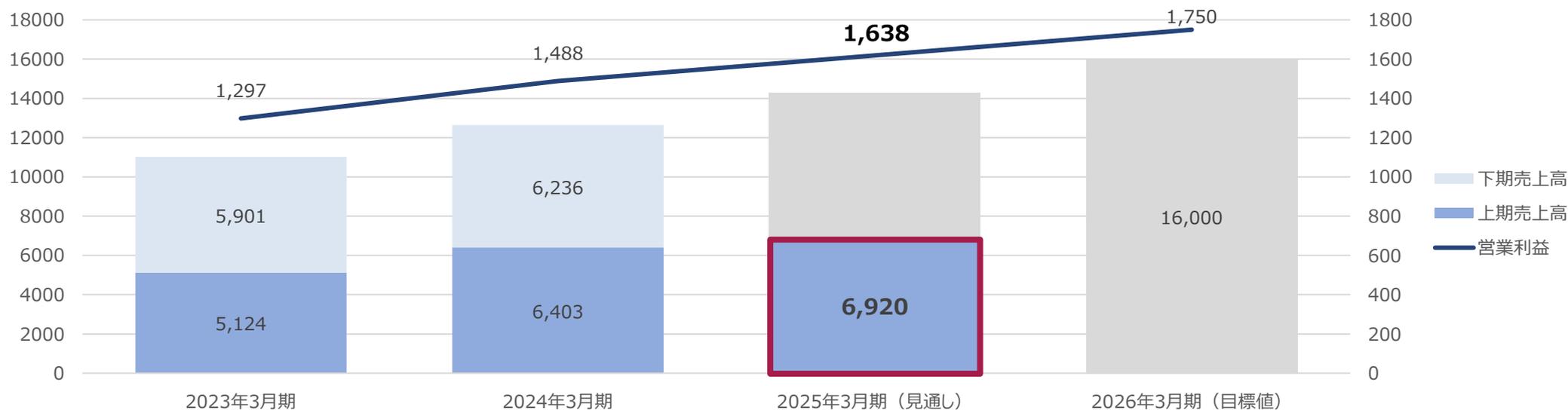
2025年3月期 中期経営計画に対する進捗（見通し）

中期経営計画の目標値に対して順調に進捗

	2023年3月期 実績	2025年3月期 見通し	2023年3月期～2025年3月期 CAGR (年平均成長率)
売上高 (百万円)	11,025	14,300	13.9%
営業利益 (百万円)	1,297	1,638	12.4%
営業利益率 (%)	11.8	11.5	△0.3pt
ROE (%)	15.3	14.7	△0.6pt



2026年3月期 目標値	2023年3月期～2026年3月期 CAGR (年平均成長率)
16,000	13.2%
1,750	10.5%
10.9	△0.9pt
14%以上	—



3.業績見通し

1	決算説明サマリ（2025年3月期 第2四半期）
2	決算概要（2025年3月期 第2四半期）
3	業績見通し
4	参考資料

2025年3月期 業績見通し（連結）

第2四半期（累計）は、好調なERP需要により、期初計画を上回る業績を達成
第3・第4四半期はPMI費用や人財・CBPへの追加投資等を見込み、通期計画は変更なし

（単位：百万円）

	2025年3月期 第2四半期（累計）			2025年3月期 通期	
	計画	実績	達成率	計画	達成率
売上高	6,713	6,920	103.1%	14,300	48.4%
営業利益	719	978	136.0%	1,638	59.7%
（営業利益率）	10.7%	14.1%	—	11.5%	—
経常利益	729	949	130.2%	1,644	57.7%
（経常利益率）	10.9%	13.7%	—	11.5%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	504	580	115.0%	1,138	51.0%

株主還元

2025年3月期の配当は4期連続の増配を予定（配当19.0円）

三方バランスのとれたキャッシュアロケーション

株主還元

- 長期的に安定した配当
- 株主優待
- 自己株式の取得

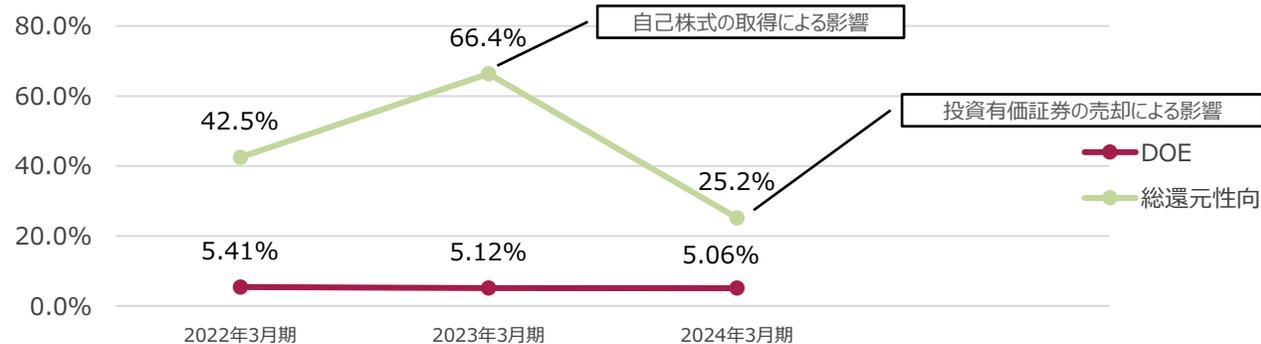
成長投資

- CBPへの投資
- 成長を支える人財への投資
- M&A

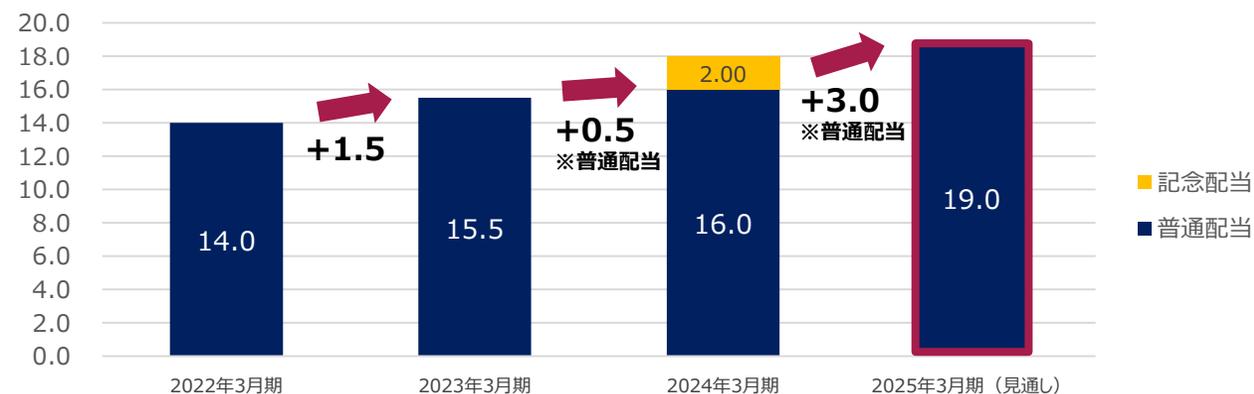
財務基盤

- 健全な財務基盤を維持
- 適切な自己資本比率

DOEと総還元性向



配当推移



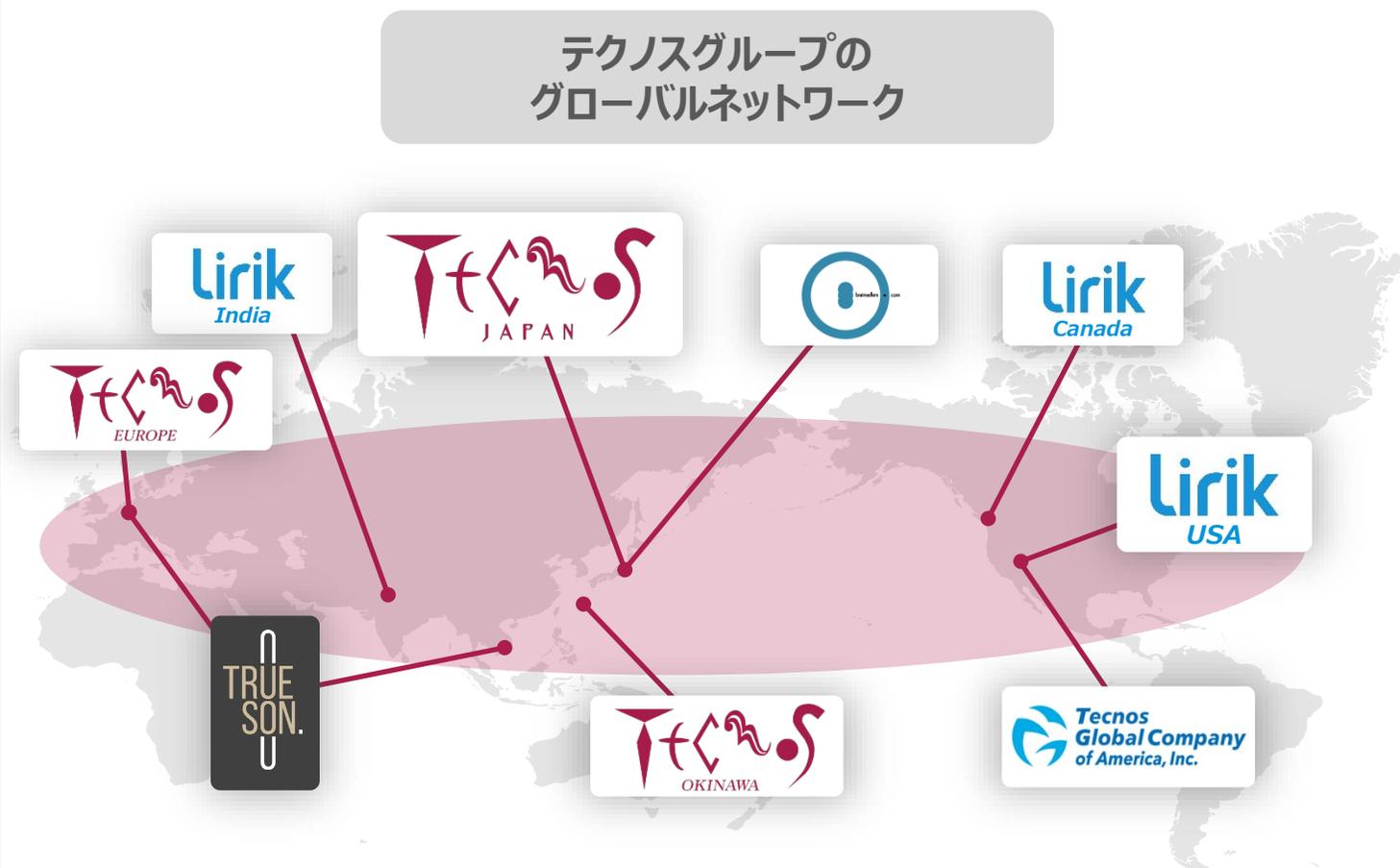
4. 参考資料

1	決算説明サマリ（2025年3月期 第2四半期）
2	決算概要（2025年3月期 第2四半期）
3	業績見通し
4	参考資料

会社概要

テクノスジャパンは、「企業・人・データをつなぎ社会の発展に貢献する」をグループミッションとし、「企業のDX推進のためのソリューション・サービスを提供」する会社です。

会社名	株式会社テクノスジャパン (英文名: TECNOS JAPAN INCORPORATED)
本社	〒163-1414 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー14階 TEL 03-3374-1212 (代表)
設立	1994年4月27日
資本金	5億6,252万円
証券コード	3666
市場区分	東京証券取引所 スタンダード市場
代表者	代表取締役 社長執行役員 吉岡 隆
従業員数	単体446名 連結864名 ※2024年10月1日現在
URL	https://www.tecnos.co.jp/



テクノスジャパン成長の軌跡

企業のDX推進のためのソリューション・サービスを提供

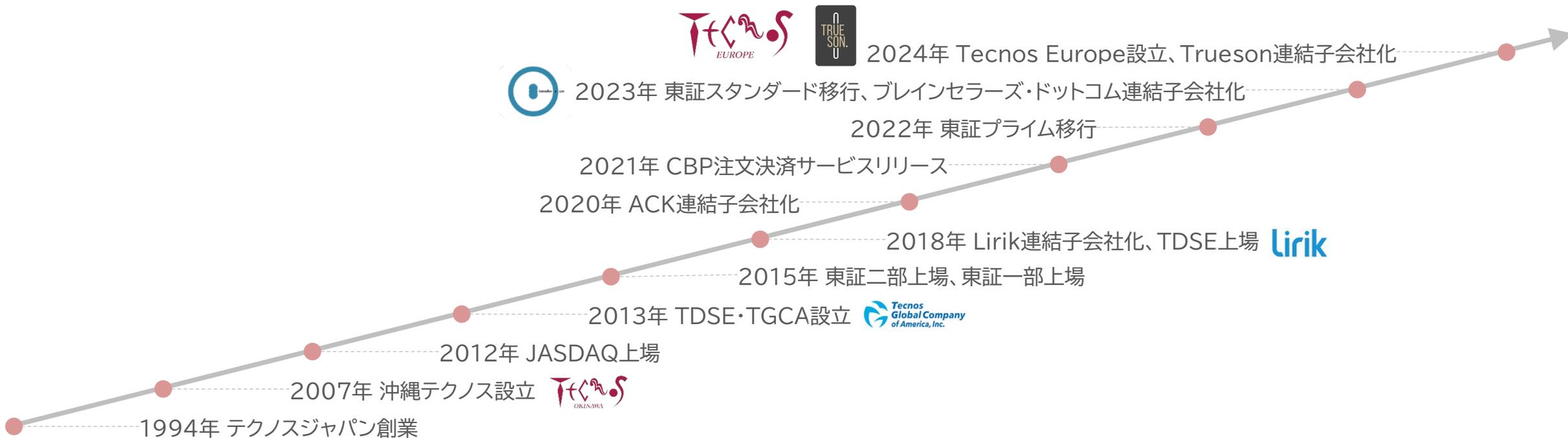
システム
コンサルティング&
インテグレーション

プラットフォーム

創業期からの第1の成長ドライバー：ERPソリューション

M&Aで確立した第2の成長ドライバー：CRMソリューション

自社開発の第3の成長ドライバー：CBPサービス



事業内容

テクノスジャパンは企業向け経営・業務システムにおけるDX推進事業を

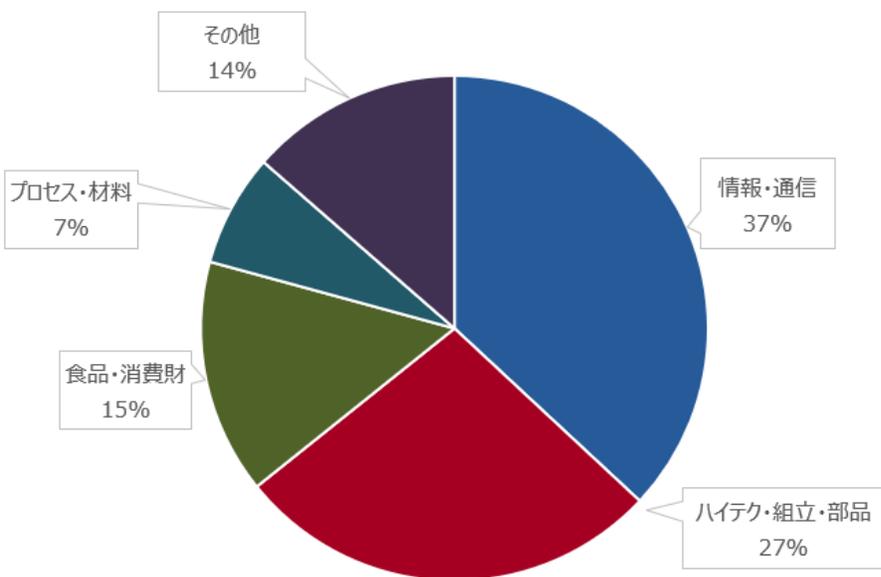
DX=ERP×CRM×CBP と定義し、顧客の経営革新を協創する事業を展開

	ソリューション・サービス領域	ソリューション・サービスの特徴	テクノスが取り扱うパッケージ・サービス等
システム コンサルティング & インテグレーション (既存の基幹ビジネス)	ERP 基幹業務システム エンタープライズ・リソース・プランニング	世界規模で流通しているERPの導入・保守を質の高いコンサル力、技術力、サポート力で支援し、顧客の業務を改善 ERP:経営・生産・購買・在庫・販売・経理部門の「人・モノ・カネ・情報」を計画・実行・管理するシステム	<ul style="list-style-type: none"> • SAP S/4HANA • mcframe • Oracle NetSuite
	CRM 顧客管理システム カスタマー・リレーションシップ・マネジメント	世界規模で流通しているCRMの導入・保守を質の高いコンサル力、技術力、サポート力で支援し、顧客の業務を改善 CRM:営業・サービス部門の「人・モノ・カネ・情報」を管理し、顧客満足を高め、収益向上を図るシステム	<ul style="list-style-type: none"> • Salesforce
プラットフォーム (成長投資の新規ビジネス)	CBP 企業間協調プラットフォーム コネクテッド・ビジネス・プラットフォーム	企業間取引やサプライチェーン全体の効率化を実現するクラウドサービスの提供 CBP:当社独自の業務プラットフォーム 基幹業務システム(ERP)/顧客管理システム(CRM)の連携ソリューションとしても利用可能	<ul style="list-style-type: none"> • CBP

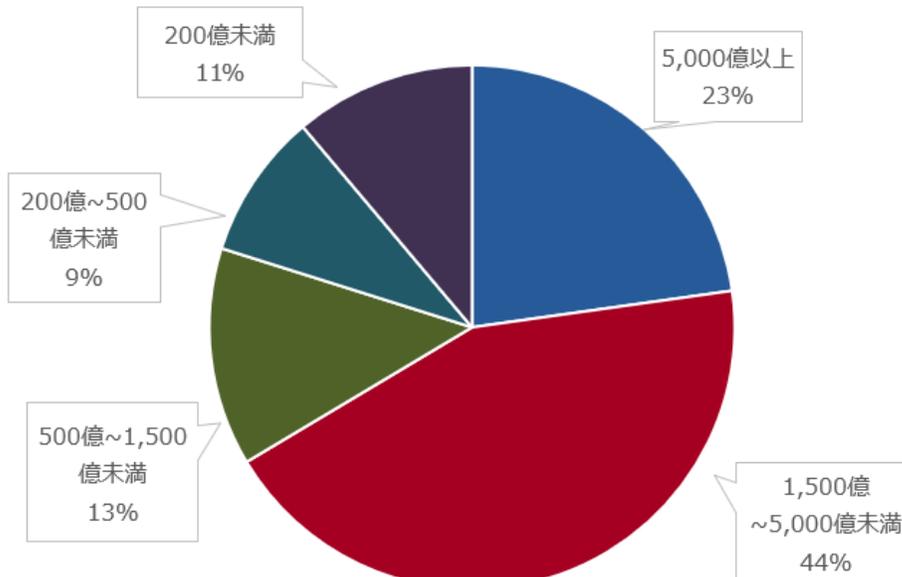
DXの世界における主要プレイヤーとして、
日本・北米の大手企業を中心に、
企業革新に不可欠なITソリューションを提供

2025年3月期 第2四半期 売上高構成状況（連結）

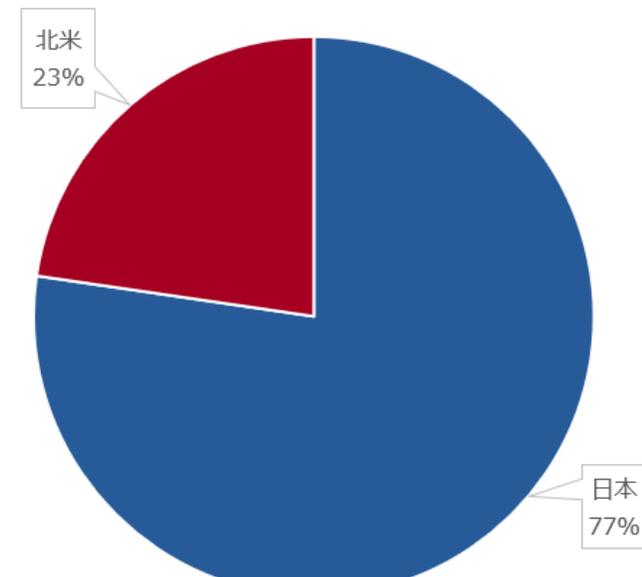
サービス先業種別売上高構成



サービス先規模別売上高構成



サービス先地域別売上高構成

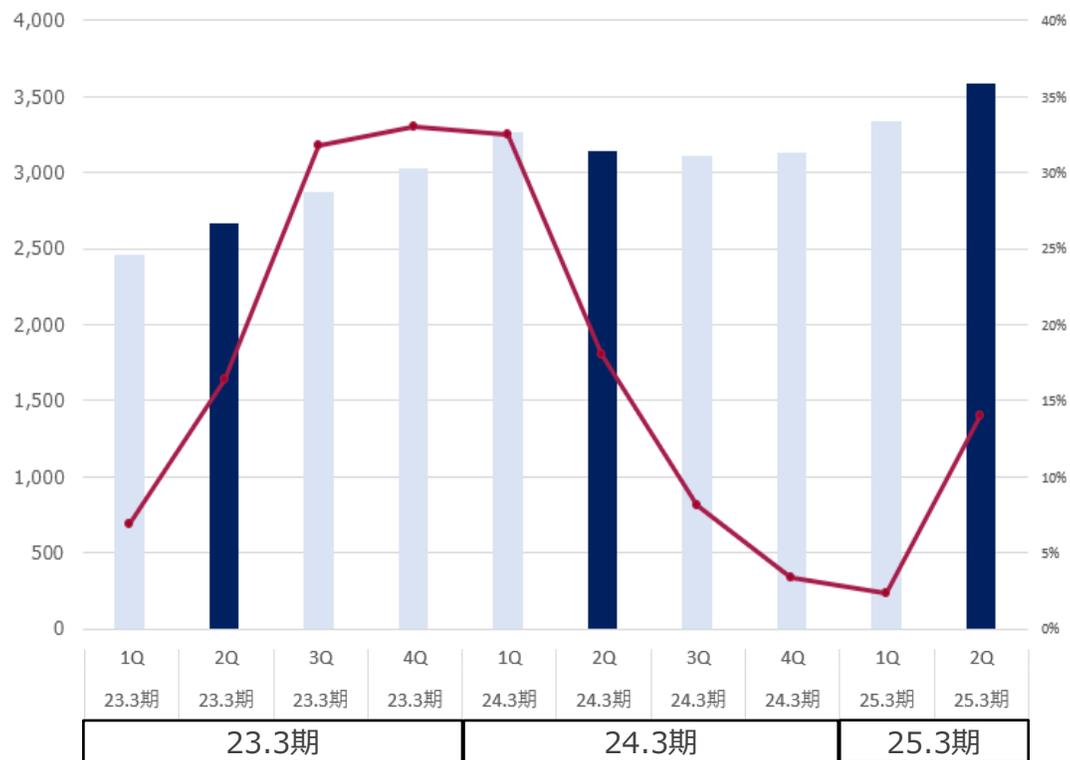


売上高・営業利益 四半期推移 (連結)

売上高
(単位：百万円)

売上高四半期推移

前年同期比伸長率
(単位：%)

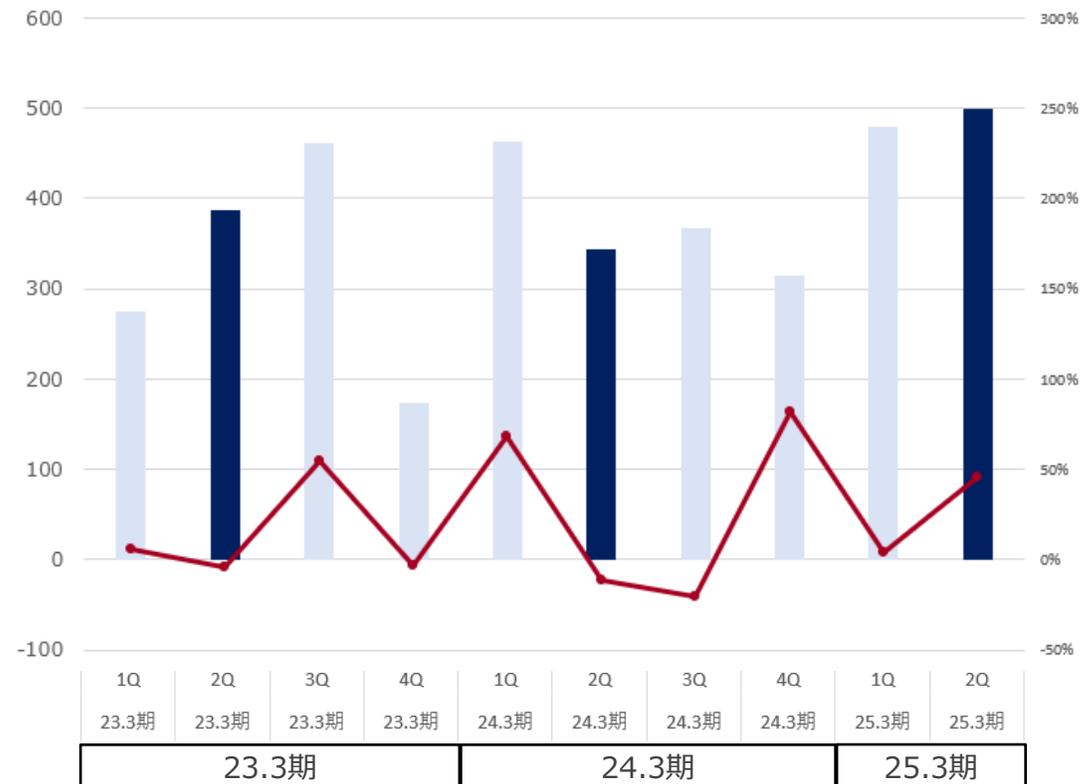


売上高 前年同期比売上伸長率

営業利益
(単位：百万円)

営業利益四半期推移

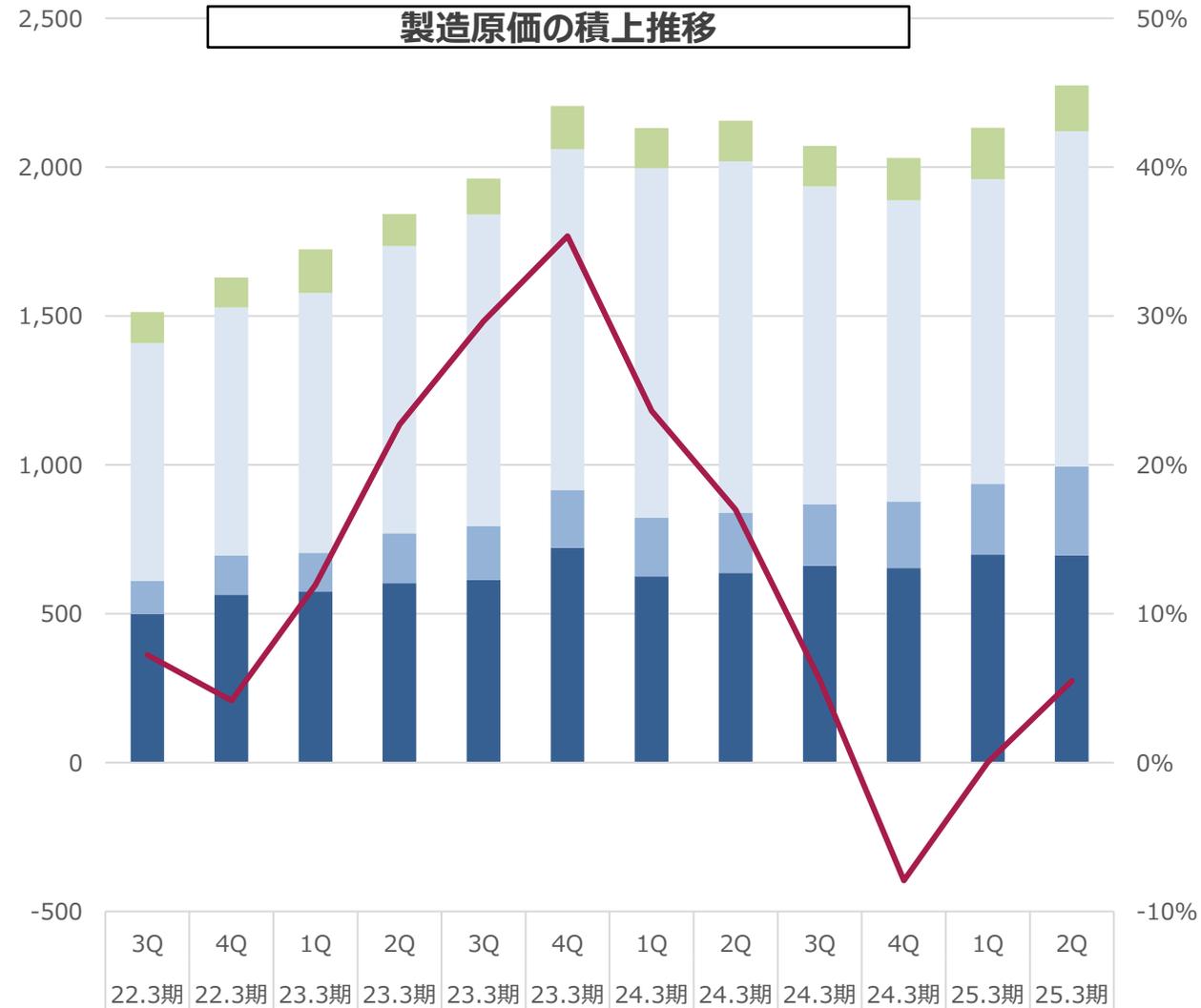
前年同期比伸長率
(単位：%)



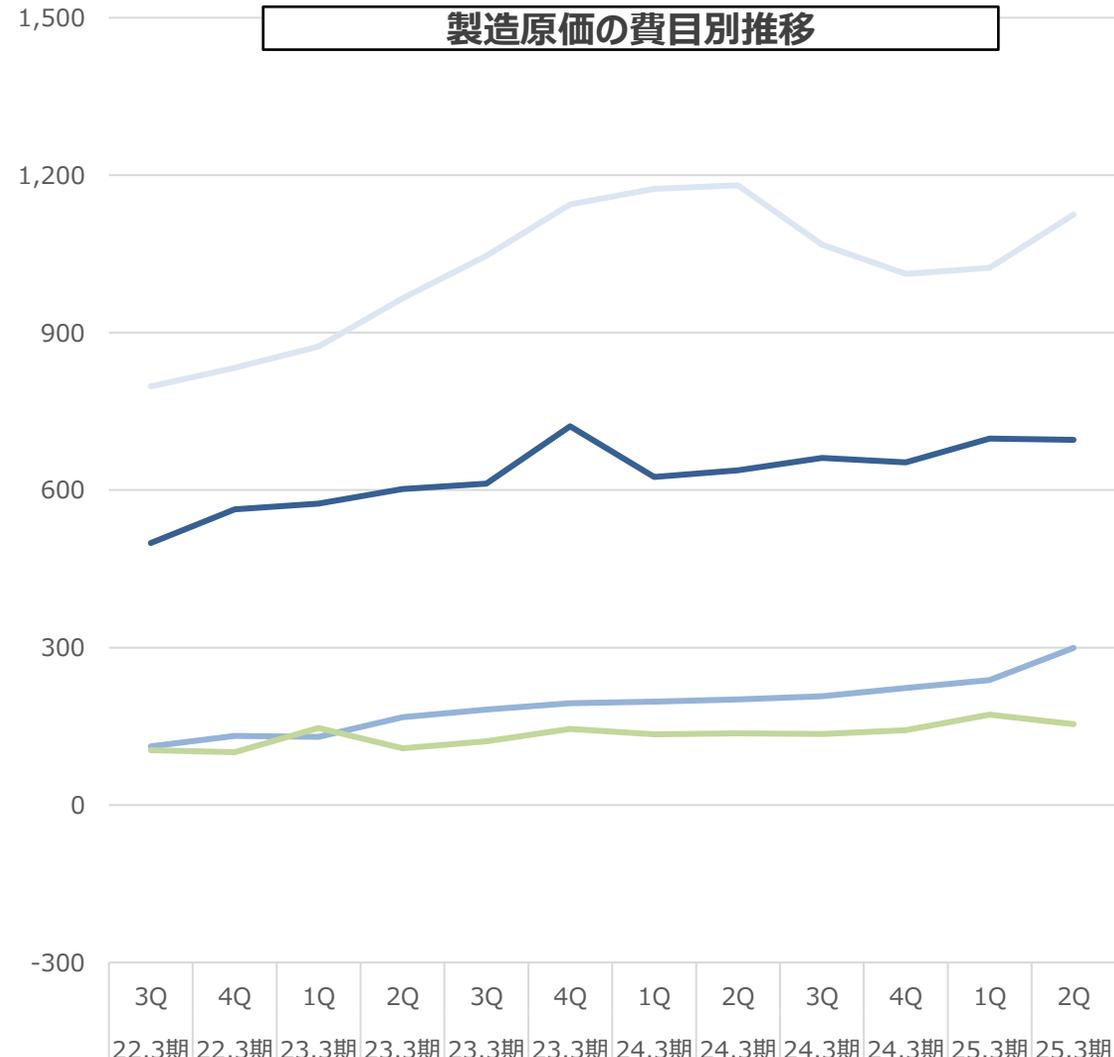
営業利益 前年同期比営業利益伸長率

製造原価 四半期推移 (連結)

(単位：百万円)



(単位：百万円)



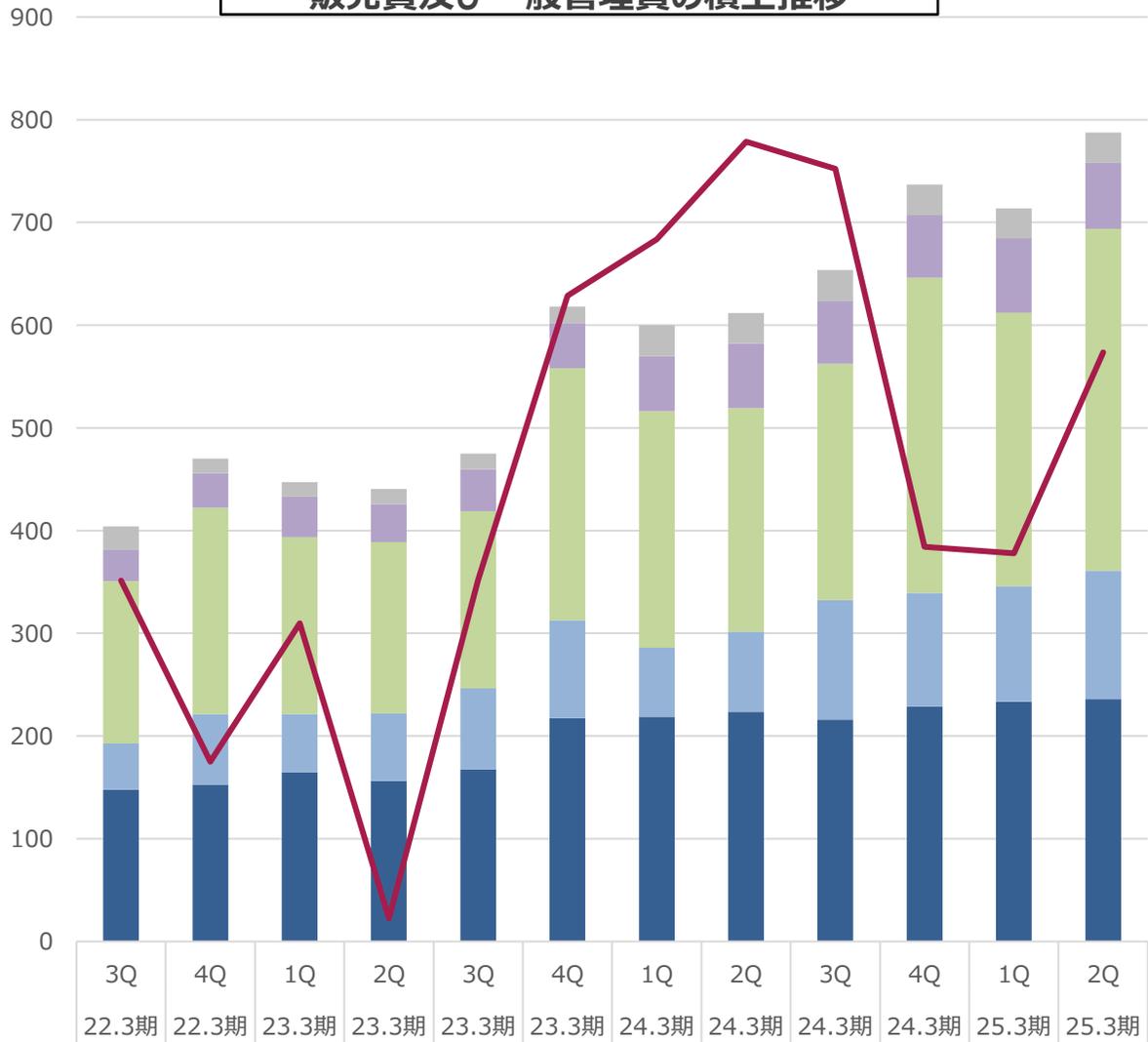
- 製造原価労務費：国内
- 製造原価労務費：海外
- 外注費
- 製造原価経費
- 製造原価：前年同四半期伸長率

- 製造原価労務費：国内
- 製造原価労務費：海外
- 外注費
- 製造原価経費

販売費及び一般管理費 四半期推移 (連結)

(単位：百万円)

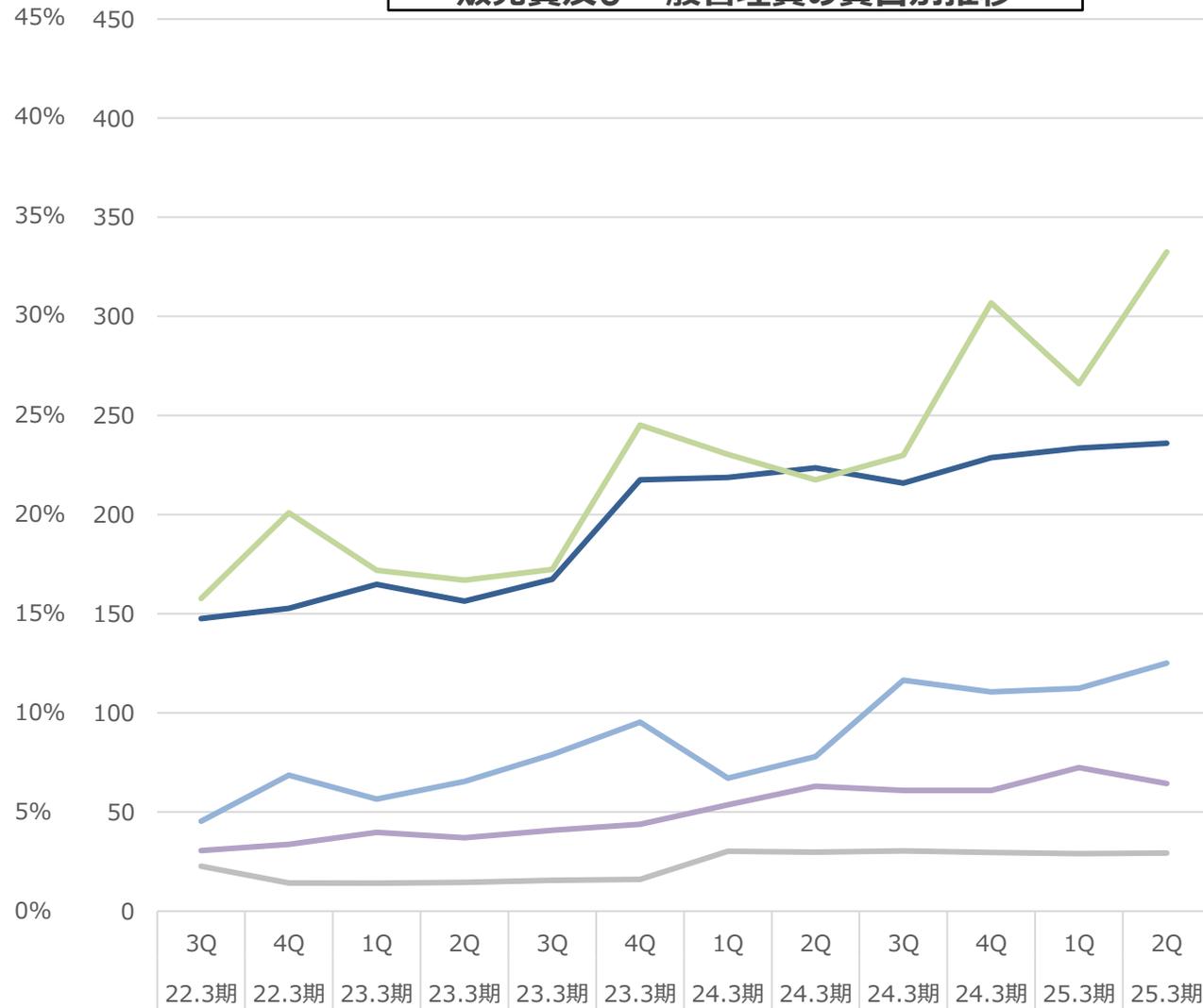
販売費及び一般管理費の積上推移



■ 販売管人件費等:国内 ■ 販売管人件費等:海外 ■ 販売管経費
 ■ 研究開発費 ■ 減価償却・のれん償却費 ■ 販売費：前年同四半期伸長率

(単位：百万円)

販売費及び一般管理費の費目別推移



■ 販売管人件費等:国内 ■ 販売管人件費等:海外 ■ 販売管経費
 ■ 研究開発費 ■ 減価償却・のれん償却費

※販売管経費の前年度比増はTrueson社のM&Aに伴うデューデリジェンス費用による一時的な影響

企業理念 (MVV) / 持続的な企業価値向上と社会への貢献

MISSION (ミッション)

企業・人・データをつなぎ社会の発展に貢献する

VISION (ビジョン)

LEAD THE CONNECTED SOCIETY TO THE FUTURE
～つながる社会の未来を切り拓く～

VALUE (バリュー)

顧客志向・グローバル志向 / 個性融合のチームワーク / 創造、変革、改善

「企業向け経営・業務システムにおけるDX推進事業」
持続的な企業価値向上 / 持続可能な社会への貢献

社会の要請に対応した経営の高度化

- ESG経営
- ダイバーシティ&インクルージョンの推進
- 産官学、地域社会との協創の推進

事業活動を通じた社会課題の解決

- お客さまへのサービスを通して、「企業経営・業務の高度化」と「業界バリューチェーンのDX」を推進し、社会課題の解決に貢献
- 「ERP×CRM×CBP」を軸にクラウドサービスでつながる社会を目指す



多様なプロフェッショナルの活躍



イノベーションと協創で
社会を豊かに

デジタルで
循環型社会に貢献



社長プロフィール

【生年月日】 1976年11月16日

【出身地】 東京都

1999年4月 テクノスジャパン入社

2013年4月 当社東日本ソリューションセンター長
SCMグループ長

2014年10月 当社執行役員 東日本ソリューションセンター長

2016年4月 当社執行役員 西日本ソリューションセンター長

2016年6月 当社執行役員常務

2016年11月 当社ソリューションセンター長

2017年4月 当社執行役員社長

2017年6月 当社代表取締役執行役員社長

2019年6月 当社代表取締役社長

2023年4月 当社代表取締役社長執行役員（現任）

代表取締役 社長執行役員
吉岡 隆



免責事項

- 本資料にて開示されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、将来の数値・数額、事実の認識・評価などといった、将来に関する情報をはじめとする歴史的事実以外のすべての事実は、当社が本資料の発表日現在入手している情報に基づき、現時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎としているものであります。
- また、見通し、予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提を使用しています。
- これらの事実または前提については、その性質上変化することがあり、客観的に正確であるという保証も、また将来その通りに実現するという保証もありません。これらの事実または前提が、客観的には不正確であったり将来実現しないこととなりうるリスクや不確定要因は多数あります。
- 従いまして、本資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

機関投資家・アナリスト様向けに、個別IRミーティングを受け付けていますので、下記メールアドレスへお問合せください。

株式会社テクノスジャパン 広報・IR担当

〒163-1414 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー14階

Mail investors@tecno.co.jp

証券コード:3666
株式会社テクノスジャパン



LEAD THE CONNECTED SOCIETY TO THE FUTURE
～ つながる社会の未来を切り拓く ～